

萩の台線の運行見直しに向けた検討

1. 前回協議会の振り返り

萩の台線運休日における車両の活用方法は、前回協議会（R4.12.15）において、「①地区からの立候補を募る」方法で検討を進めることとなった。また、見直し実行を急ぐべきとの意見から、要領等の作成は事務局に一任し、早急に準備を進めていくこととなった。

以下、R4.12.15 協議会【資料5】抜粋

①地区からの立候補を募る

- ・生駒市から自治会等に募集をかけ、地区からの立候補を募る。
- ・公共交通サービスは地域の住民みんなで守り育てるものであるため、自治会などの地縁団体での申し込みを前提とする。
- ・たけまる号の取組と同様、地元が積極的に取り組むこと。そのため、運行方法の検討や利用促進活動についても、自分たちで責任を持って取り組む地区を選定する。
- ・選定については、地区から企画提案内容等により、必要性や熱意のある地区で活用できるようにする。

2. 前回協議会以降の進捗

まず、事務局において、地区からの募集を進めるうえで必要となる募集要件や審査基準等を取りまとめた「生駒市コミュニティバス導入地区募集要領(案)」(参考資料)を作成し、募集に向けた準備を進めた。しかし、多くの自治会では役員改選を控えることや、また、内容的にも自治会内での十分な議論が必要となる案件であることから、すぐに募集を始めるのではなく、まずは現に日常生活において必要な移動が困難な地区からの相談を受け付け、地域と一緒にたけまる号の活用について考え、その後に募集を開始することとする。

3. スケジュール案

各自治会からの相談状況にもよるが、少なくとも今年度末までは相談期間とする。応募が見込まれる状況があれば4月以降に募集を開始する。具体的なスケジュール案は次のとおり。

<令和4年度>

2月～3月 自治会長あて文書発送 相談受付

<令和5年度>

4月～6月 募集要領決定・募集開始

7月～8月 審査・地区決定

9月～12月 具体的な運行計画検討

2月～ 運行開始